中学公民プリント（基礎確認）
現代社会と人権 No.20

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／15

1回目　2回目

1 職場での男女差別の禁止や、採用、昇進における機会の平等を定めた、女性の活躍を支えるための法律を何という？
① 労働基準法　② 育児・介護休業法　③ 男女雇用機会均等法　④ 男女共同参画社会基本法

2 自分の私生活や情報をみだりに公開されないようにコントロールできる権利を何という？
① 知る権利　② 自己決定権　③ 環境権　④ プライバシーの権利

3 子どもの数が減り、高齢者が増えることで、若い世代が社会を支える負担が増していく現象を何という？
① 少子高齢化　② 国際化　③ ドーナツ化現象　④ 過疎化

4 行政機関が保有する情報を、国民が請求したときに開示することを定めた法律を何という？
① 電子署名法　② 行政手続法　③ 個人情報保護法　④ 情報公開法

5 情報機器を使える人と使えない人の間に生じる、経済的状況や社会参加の機会における格差を何という？
① 産業の空洞化　② デジタル・ディバイド　③ バブル経済　④ 少子高齢化

6 国や地方公共団体が持つ情報を、国民が請求して開示を求めることができる権利を何という？
① 肖像権　② 知る権利　③ 表現の自由　④ プライバシーの権利

7 地球規模で発生する紛争や環境問題などの課題を解決するために、世界の国々が集まって設立された国際的な組織を何という？
① 国際司法裁判所　② 国際連盟　③ 世界貿易機関　④ 国際連合

8 日本国憲法第21条で保障されており、知る権利の根拠ともされる、自分の意見を公に述べる権利を何という？
① 表現の自由　② 信教の自由　③ 思想・良心の自由　④ 学問の自由

9 情報公開制度において、個人のプライバシーや国家の安全に関わるため、開示の対象外となる情報を何という？
① 公文書　② 不開示情報　③ 情報公開制度　④ 開示請求

10 国レベルで行政機関が保有する情報の開示を請求する際の根拠となる法律を何という？
① 行政手続法　② 情報公開法　③ 公文書管理法　④ 個人情報保護法

11 日本国憲法第13条の「個人の尊重」に基づき、すべての人が幸福を追い求めることができる権利を何という？
① 教育を受ける権利　② 勤労の権利　③ 生存権　④ 幸福追求権

12 インターネットの普及による個人情報の流出を防ぎ、個人の識別情報を適切に管理するために制定された法律を何という？
① 個人情報保護法　② 著作権法　③ 行政機関情報公開法　④ 情報公開法

13 憲法に直接書かれていなくても、社会の変化にともなって認められるようになった人権をまとめて何という？
① 新しい人権　② 自由権　③ 社会権　④ 参政権

14 国境を越えて人やモノ、お金が活発に動く中で、各国が得意な製品の生産に特化して貿易を行う仕組みを何という？
① 産業の空洞化　② 国際分業　③ 地産地消　④ 保護貿易

15 インターネットやスマートフォンなどを利用する際に、他人の権利を侵害せず、安全かつ適切に活用するための正しい知識や態度を何という？
① 情報セキュリティ　② メディア・リテラシー　③ 情報モラル　④ 著作権意識

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「現代社会と人権」のプリント一覧がひらきます